



関東工業自動車大学の学生が ひな人形カーを制作

Hina doll car with KANTO



▲運転席側には紅梅、助手席側には
白梅が描かれています



▲ほんほり
雪洞をイメージした
サイドミラー



ひな人形の着物や装飾品を参考に、車体の右側が男雛、左側が女雛のデザインとなっています。また、内装に菱餅の色合いを取り入れたほか、運転席と助手席のシートには着物の生地が使用されるなど、外装・内装ともに細部にまでこだわった仕上がりとなっています。

ひな人形の衣装等をもと
にデザイン

関東工業自動車大学校車体整備科の学生4人が、授業の一環として「ひな人形カー (Hina doll car with KANTO)」を制作しました。



Hina doll car with KANTO

制作に携わった車体整備科の皆さん



写真左から、高橋 朋己さん (21)・石原 碧さん (20)・須田 崇仁さん (21)・曾根原 陵さん (21)

ひな人形のまちをPRしたい

私たちは、近年続けて参加している東京オートサロンへの出展車両として、鴻巣市の伝統工芸品であるひな人形をモチーフにした車両の制作を行いました。

外装の梅の絵を描いたことや、内装の菱餅のデザインなどが、制作する中で特に大変でした。

この車両が、鴻巣市のPRに繋がれば嬉しいです。

制作期間は約6か月と長かったです。が、今回得た経験を今後の人生に活かしていきたいです。



青木 隆正先生

ひな人形等を寄贈していただいた株(マル)武人形をはじめ、鴻巣市観光協会や関係者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事やイベントが中止となり、今年度の学生たちは残念な思いをしてきました。

学生たちの励みになりましたので、ぜひ、多くの方にご覧いただきたいです。

市役所と花久の里で展示

2月22日(月)・24日(水)・26日(金)に市役所本庁舎前、2月27日・28日(土・日)に「鴻巣びっくりひな祭り2021」サテライト会場の花久の里で、車両を展示する予定です。

また、今後市内のイベント等でもお披露目していきます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、当初予定していた東京オートサロンの会場展示は中止となってしまうましたが、東京オートサロン2021ホームページで車両の写真を公開しています。

制作過程を一部紹介



▲枝と花はすべてエアブラシで。枠に影を付けて浮き上がって見える効果も



▲塗装は、スプレーガンで何重にも



▲模様の位置は、バランスを考えて緻密に配置



▲バンパーなどの模様は、貼り付けから塗装まで手作業で

KANTO
Industrial College

関東工業自動車大学校

昭和54年設立。約25,000㎡の敷地には、広大な実習棟や多くの教材車両を備えており、約700人の学生が未来の自動車産業界を担うべく学んでいます。

また、子ども向けに車に触れ合うイベントを定期的に開催するなど、地域にも貢献しています。



所在地
糠田2618-8

東京オートサロン 2021

ホームページで写真公開中



バーチャルオートサロンは、自動車イベント会場を3D空間で体感できるオンラインイベントプラットフォームです。

今回の車両は、「Hall 6」に展示しています。

